

「バリアフリー食“凍結含浸”」ワークショップ活動報告 V

H25.4.2 ワークショップ事務局

1 県立広島大学（三原）公開シンポジウムでの展示について

日時：平成25年3月29日（金）16:30~20:10
場所：県立広島大学三原キャンパス1号館大会議室前
参加者：約40名
テーマ：「食べる・飲み込む」を科学する
主催：県立広島大学保健福祉学部

- 広島発の「凍結含浸」について、看護・介護関係研究者や学生、及び現場関係者に対する情報提供と体験の機会とするため、ワークショップとして出展しました。



平成24年度県立広島大学学内共同プロジェクト研究発表会
「食べる・飲み込む」を科学する 公開シンポジウム
(煎食嚥下・認知機能障害への対策)

実務報告：
・高齢者に必要な栄養 山縣智志江（県立広島大学 人間文化学部）
・認知症の摂食・嚥下障害について 原田俊英（同 保健福祉学部）
・「食べる・飲み込む」とあごの発達 佐藤公子（同 上）
・これからも美味しく安全に食べるコツ 矢守麻奈（同 上）
・「食べる・飲み込む」における介護福祉の課題 窪田美香（同 上）
・「食べる・飲み込む」に関する倫理的問題 吉川ひろみ（同 上）
・両者について一家族の立場から 佐々木日高里（花園大学）

特別講演：本道の「平窟究」海龍苑 止ば
佐々木 潤（花園大学 教授）

日時：平成25年3月29日（金）17:00~20:00
場所：県立広島大学三原キャンパス1号館1階大講義室
申込不要・入場無料 どなたもご自由にご参加ください。

<交通案内>
JR山陽新幹線山陽本線・三原駅下車
三原駅前5番バス停から
「県立広島大学」行き15分徒歩下車

<お問い合わせ>
電話：0848-60-1120（代）
E-mail: myamori@pu-hiroshima.ac.jp
〒723-0053 三原市学園町1-1
県立広島大学保健福祉学部

2 展示及び試食状況

当ワークショップとして、各企業の商品チラシ・カタログ等、ならびに広島県の取組み紹介資料を展示配布し、日本水産株式会社の商品「笑み満菜」の試食をクニヒロ株式会社のご協力を得て実施しました。

【ブース全景】

- 展示と日本水産「笑み満菜」を試食提供



【来場風景】

- 試食は好評、チラシ・資料にも関心



【ワークショップ紹介展示】

- ワークショップ活動の紹介及び技術説明資料や商品パンフレット、商品サンプルを展示



各種チラシ等の展示



商品サンプルの展示

3 結果

- 凍結含浸法について、初めて聞いたという方が大半でした。30名ほどの方が試食されましたが、やわらかさに驚く方が多く、味付けも含めて好評でした。
- 介護施設関係者や自宅で介護をされている方からは、商品の入手や食事としての利用提供方法などに熱心な質問があり、殆どの方は、チラシや資料を一斉持ち帰られました。

- なお、当ワークショップとは別に、やわらか食商品を展示試食 PR された企業が 1 社ありました。

4 総括

- シンポジウム会場入口前での展示であったため、参加者はシンポジウムプログラムの合間に展示を見たり試食体験したりされる状況でした。
- シンポジウム参加者自体が少なく、当ワークショップの展示を見られた方も多くはありませんでしたが、その分、説明をしっかりと聞いていただくこともできました。
- 展示配布したチラシ等の残部は、県立広島大学の授業等にて資料として活用されるということで、引き続いての周知紹介につながると期待されます。

5 今後のイベント出展・セミナー等（現時点調整中を含む）

H25 年 5 月

第 23 回西日本食品産業創造展'13（福岡市）

凍結含浸セミナー（東京都）

東京都立食品技術センター講演会（東京都）

H25 年 6 月

広島県社会福祉協議会研修会（広島市）

第 8 回食育推進全国大会（広島市）